

住宅(開発)地の価値を高めるグリーンインフラ

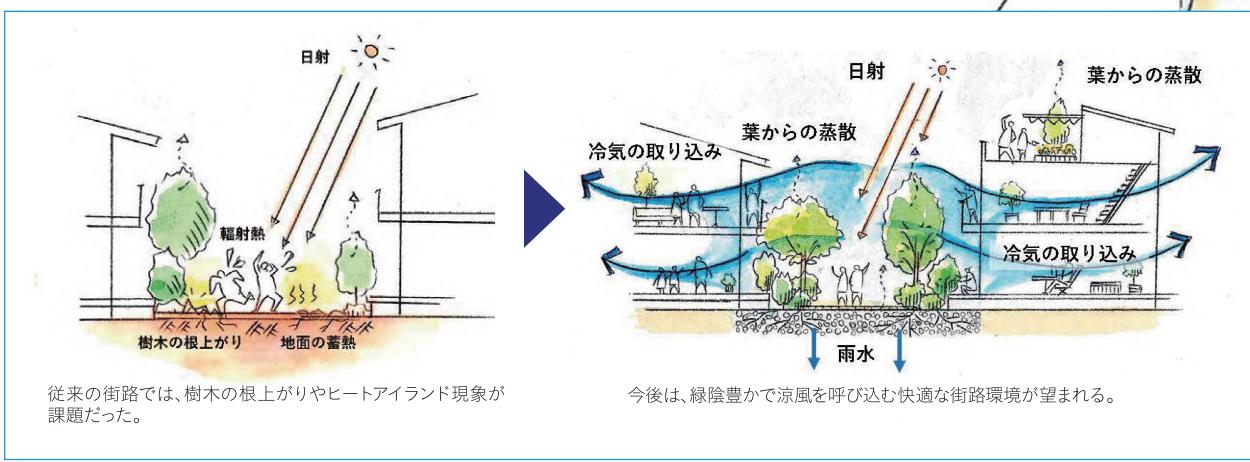
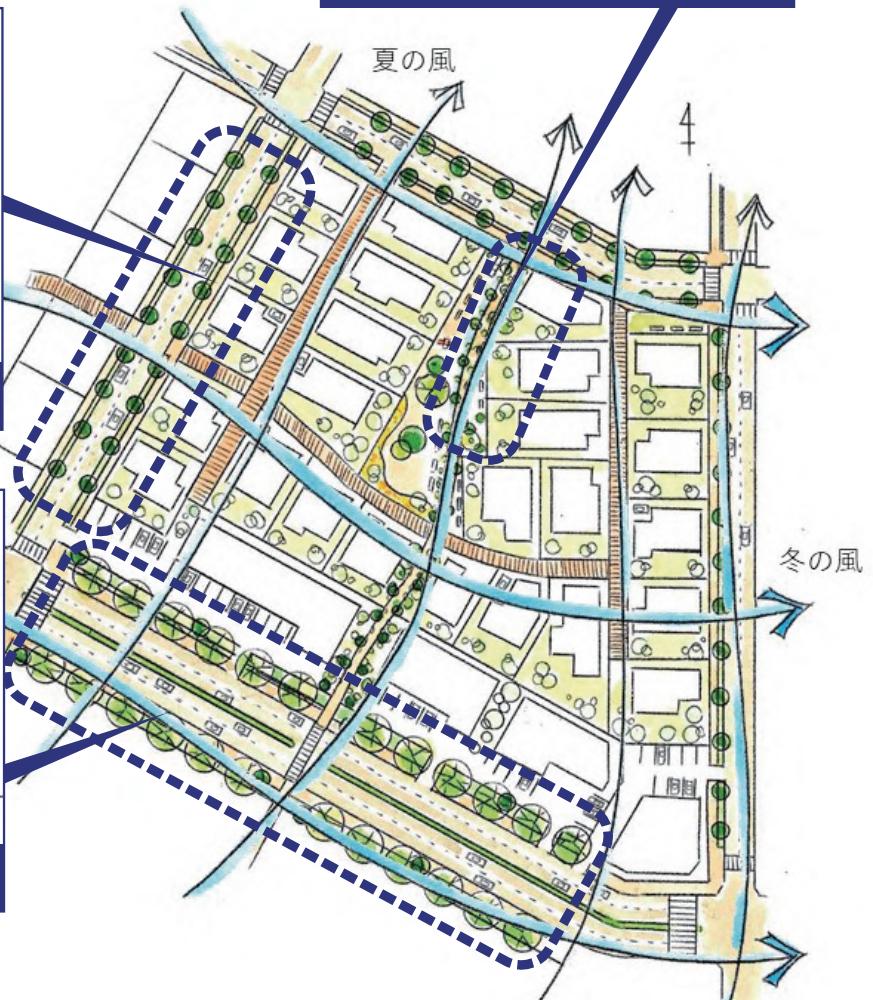
これからの街づくりは、住む人に心地良さを感じてもらいながら、将来にかけての資産価値を落とさないためのメンテナンス手法が確立されていることが重要です。そのためには、住む人の視点に立った計画とグリーンインフラ技術の導入、そして継続できるメンテナンス計画が必要です。「良い環境の街」の条件にこれまで挙げられてきた「美しい」「潤い」「賑わい」「誇り」に加え、これからは「夏場に冷える」「安全」を加えた持続可能な設計の時代になっていくでしょう(図3-3)。また、効果検証のためのモニタリング技術の開発も進むと考えられます。



人々の交流を生みだす遊歩道とポケットパークは風の通り道にもなる。



豊かな緑陰は涼風を生み出す。
快適な通りは人々の散策を促す。



従来の街路では、樹木の根上がりやヒートアイランド現象が課題だった。

今後は、緑陰豊かで涼風を呼び込む快適な街路環境が望まれる。

図3-3 快適な街づくりに向けたグリーンインフラの活用